

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		リバーサイドスポーツセンター維持修繕					所管	教育委員会 スポーツ振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	137	計画事業名	リバーサイドスポーツセンター維持修繕			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり [小 柱] (2)生涯スポーツ社会の実現 [施策] ②スポーツに取り組む場の充実					[事業開始]		昭和58年度
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区体育施設条例				[終了予定]	- 年度
	事業対象	台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備							
	事業目的	台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備を優良な状態に維持する。							
	事業内容	台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備の維持修繕							
	委託の有無	なし	委託内容						
	補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	計画工事実施回数	回	7	0	1	1		
		緊急工事数	回	0	6	9	9		
	成果指標	修繕の推進	-	実施	実施	実施	実施		
	決算額 (単位:千円)				7,028	8,053	16,425		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			850	401	892		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			7,029	3,250	9,016		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	4,803	7,409		
		総経費			7,879	8,454	17,317		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源(区負担額)			7,879	8,454	17,317				
前回評価から改善した事項	引き続き、利用者に影響が発生する部分について優先的に改修を行い、利用中の事故や怪我防止に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	陸上競技場や野球場などは既に20年以上経過しており、施設や設備の老朽化が進んでいる。また、体育館については、老朽化未対応の部分について、経過観察・改修等が必要となる。						
	効率性	3	防災設備や事故につながる不具合等、緊急性があり優先度が高い改修を実施している。						
	手段の適切性	3	施設の不具合に対する修繕工事について専門業者へ発注し、適切な施工管理を行っている。						
	目的達成度	3	各施設においては、必要最低限の改修を行っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
総合体育館として、多くの区民が利用しており、適切に維持修繕していくことが重要である。このため、利用者ニーズ及び老朽化対応が必要であり、引き続き計画的な改修工事を行い、状況に応じて緊急工事を行っていく。						維持			